

(中支報 2016-07-02)

《2016年度 第7回定例運営委員会報告書》

日時：2016年12月14日(水) 18:45~20:00

場所：名古屋音楽プラザ(中区金山1丁目) Tel 052-331-6041

出席：犬塚裕道、奥山陽一、川島善信、佐藤孝郎、丹羽 功、溝口修一、武藤美喜、吉田廣嗣、木枝義雄(監査)、

委任：浅野芳夫、大矢英和、松島大樹、

欠席：なし

議事の概要

◇定刻になり、支部長丹羽 功が議長として着席し18時45分に開会を宣して議事に入った。

(1) 報告事項

第1号報告「月次会計報告 11月」(会計松島委員)

・松島委員が欠席のため支部長から、松島委員の本業が繁忙で当月分が未処理のため来月分と合わせて処理し、次回運営委員会にまとめて報告することで了承いただきたい旨の報告があった。

第2号報告「機関紙の進捗状況について」(川島編集長)

・川島善信編集長よりSOUND A&T 88号の編集作業について次の通り報告があった。

2016年11月25日 編集作業が終了し本部編集委員会へ初稿を送稿した。

2016年12月 1日 SEAS Plaza中部支部欄の原稿「邦楽セミナー、機器展の告知と中部地方の相次ぐ劇場の閉鎖問題について」を送稿した。

2016年12月05日 本部よりゲラ刷りが到着した。その後、各執筆者に転送し、確認、修正等の再校を依頼し、それぞれ決定稿を得た。また、図表の高解像度を求め、2~3度の修正要求があり対応した。

2016年12月12日 各執筆者から掲載の許諾を得て本部に送稿した。

以上を以って予定の総ページ数を満たし、中部支部の編集作業は終了した。

第3号報告「40周年記念ロゴについて」(丹羽代表理事)

・丹羽代表理事から、以下の報告と説明があった。

2017年2月1日、本協会の設立40周年を迎えるにあたり、40周年記念ロゴを代表理事4名で協議して作成したので、有効に活用していただきたい。

2017年からさまざまな記念イベントを開催したいと考えおり、会員の皆様に喜んでいただける内容にしたいので、皆様の創造力とご協力をお願いする。

第4号報告「その他の報告事項」(丹羽支部長)

・本部作成の参考資料として、各種事業で発生する出演料、講師料等の支払いに関する「契約書」のひな型が提示され、その説明があった。

・この件について、感想および意見交換をした。

単発の講師料や出演料の契約にははかなりヘビーな契約書だ。

セミナー等の講師、出演および出展を依頼する各種依頼書(発注書)に、依頼(発注)内容および契約条件のほか、必要があれば特記事項として事業の開催中止による契約解消等に関する確認事項を加え、双方が了承することで対応すれば良いのではないかと。

暴対法に基づく特記事項は、施設使用許可証等に記載する特記事項であって、出演や出展を依頼したり契約したりする文書に記載する事項ではない。等々の意見があった。

(2) 決議・審議事項

第1号議案「音響機器展について」(犬塚実行委員長) <別紙参照>

・犬塚実行委員長より出展が確定した企業一覧表が提出され、説明があった。

・事業計画書(予算)の提出があり、審議し承認した。但し、実施要領等については引き続き検討する。

第2号議案「邦楽セミナーについて」

・進捗確認と当面の課題について協議検討し対応を決定した。

1. 当日のスタッフについて。

実行委員長または補佐が配置を検討し次回運営委員会にて報告し確認する。

2. タイムスケジュール

前回提出のスケジュール通りで変更はない。

3. 現在の受付状況

現在、犬塚委員のFACE BOOKを見て3名の申込がある。

受付方法は前回運営委員会にて報告した通り、

- ① メール FAX申込は 受付確認を申込者へ連絡
- ② 毎週 芸創受付分を音響家協会中部支部へ送信
- ③ 音響家協会より芸創へ音響家協会受付分を毎週送信
(受付はについて案内チラシ、ホームページで申込先が芸創となっているので音響家協会中部支部へ申し込みはない状況にある。)
- ④ 最終的に芸創センターが集約し名簿を作成する。

4. チラシの発送について

芸創センターよりメール便で発送して頂けることになり、最新の住所リストを芸創センターに送る(担当:丹羽)
(この報告書作成時点で完了している。)

5. 釣り銭、領収書等は支部会計が用意する。(所定様式の領収証を事務局が作る。)また受付時の出納を2名体制で行い、受け付け業務の円滑化を図る。

6. その他決定すべき詳細は次回運営委員会までに実行委員長または補佐が「実施要領」を作成して確認する。

第3号議案「その他の決議事項」

- ・ 犬塚委員より日本舞台音響家協会主催の「津軽三味線-マイクとマイキング-」のお知らせを支部メールニュースで配信してはどうかと提案があり、当支部の事業も日本舞台音響家協会の方で告知して頂けるとのことで、機器展、邦楽セミナーの案内に加えて、年内に中部支部メールニュースを配信出来るよう準備する事にした。(担当:溝口)

以上を以ってすべての議事が終了したので、20時00分に議長が閉会を宣して会議を終了した。

以上

報告者 支部長 丹羽 功